



あけまして
おめでとう

新年のごあいさつ

株式会社 ナチュラル・ハーモニー
代表取締役 河名 秀郎

新年 あけましておめでとうございます。

昨年は、ナチュラル・ハーモニーが推し進めてきた自然栽培農産物や加工食品および天然菌による発酵食品をはじめ、生産者や作り手を、そしてわたしたちナチュラル・ハーモニーを心身ともに支えていただき、誠にありがとうございました。

皆さまのサポート、お力添えでまた新たな年を迎えることができ、そしてナチュラル・ハーモニーのミッションが遂行できますことを、この場を借りてあらためて御礼申し上げます。

「ありがとうございます」

振り返りますと、昨年は横浜都筑区にあり、ます私たちの思いを表現する場「ナチュラル＆ハーモニックプラント」のリニューアルから始

そんな「どんなものを」を探究しながらハーモニック・ライフは生まれ、そのハツツウを今回父であるわたしと娘の両視点で描いた本が前述の「ハーモニック・ライフスタイル今を生きやすくする、自然と調和した暮らし方」です。まさか娘と本を出版するとは夢にも思わなかつたですが、娘と共同作業する中で、私の知らなかつた娘の一面を知ることができたり、彼女の目線での自然と調和する生き方は自然栽培的育児を試みてきた親として、とても興味深いものがありました。皆さまもぜひ手に取って読んでいただきたい一冊です。

この本では基本的に具体的な生活スタイルを提案しているのですが、一方でもう一つ伝えたかったことがあります。それは、無駄な戦いは無意味だということ。

昨年はロシア、ウクライナの戦争に加え、イスラエルとパレスチナの紛争が激しさを増し、多くの命が奪われています。お互いそれぞれの主張があつて、それぞれの正義を持つて戦っているのですが、それはそれぞれの人たちらとつて都合が悪いことを叩く姿でしかないんじゃないかと私の目には映ります。

まづ、九月には十三年前に出版した「ほんとの野菜は緑が薄い」改訂版、十月には現在広報部で勤務する娘との共著で「ハーモニック・ライフスタイル」という書籍を出版させていただきました。さらに十一月にはメディアの方々をお呼びして、ナチュラル・ハーモニーの活動、そして私たちが提唱するハーモニックライフとはどんなライフスタイルなのかをより多くの方に伝えたく、プレス発表会を行いました。

店舗のリニューアル、ブランドマークの変更、そしてホームページの一新など、かなり大胆に手を入れ、新たなナチュラル・ハーモニーとして自然栽培、そして自然栽培から学ぶ自然と調和した生き方をより多くの方々に伝えたいとスタッフみんなで邁進した二年でした。

私の人生の分岐点はなんといっても自然栽培を通じて、いのちの原点なるものを垣間見

相手が悪くて自分たちは正しい、という構図はいつの世も変わらぬ人間の悪い癖だと。実際、私もその癖を背負いながら生きてきましたが、自然栽培と出会ってからその癖はいつしか消えていきました。

極端な例えかもしれませんが、農業においては害虫が悪いからその害虫を叩く。ウイルスが悪いからそのウイルスを叩く。その手段としておびただしい量の薬剤を使い、その影響で地球環境はもろろん、そこに生きる生命そのものが脅かされている。それは人間も然り、細菌やウイルスに対しての過剰なる防衛反応は殺菌行為を正義として捉えている人間のおごりではないかと。

わたしたちは自然栽培という栽培法を通じて細菌やウイルスそして自分にとって都合の悪い存在をさえ、それが自分にとっての絶対悪ではなく、それらは意味があつて存在し、自分をそして地球そのものを進化させる役割だったり、浄化する役割を担っていることを学びました。

そして人間の都合で縦分けた善悪論は自然界では無意味であり、その間違つた判断が負

ことができたことだと思えます。

植物つてほんとはどんな環境や条件が生きやすいのか？

その生きやすい環境や条件を壊すものが、まさか肥料だつたとは思いませんでした。

だとすれば人間はどんな環境や条件がほんとは生きやすいのか？といった、いのちの原点に立ち返つた発想を元にナチュラル・ハーモニーは歩んできたように思います。

具体的には、人間はそもそもどんなものを口にするようにできているんだろう？そして肌にはどんなものが触れることが最適なんだろう？さらに肺にはどんな空気を送り込んだらいいんだろう？

の連鎖を生むということに気づかされました。

そしてそれは過剰なる農業散布、膨れ上がる医療費、そしてその考え方がとどつまり、戦争にまで及んでしまつてはいませんか？

今こそ、私たち人間も自然界の生き物の一員として、すべての生命に生かし、生かされていることに感謝して、自らが負の連鎖に取り込まれないようにすることが求められるのではないのでしょうか。

二〇二四年も人間も自然界の一員であるということを念頭にナチュラル・ハーモニーは自然のルールに寄り合い、農産物にとって、人にとって、地球にとって本来あるべき環境や条件を追い求め、今までも増して心地よい衣食住を提供できるライフスタイルブランドとして、経済よりも命を尊重した商品をみなさまにお届けできるようにスタッフ一同取り組んでいこうと心を新たに頑張つてまいります。

どうぞ、本年も変わらぬサポートをよろしくお願ひします。



（あとがき）昨年十月でも東京は27℃越え、スーパーエレニーニョ現象だとか。山登りが好きな私は、毎年決まってくる山がある。かれこれ十年近く通っているだろうか。同じ時期に同じ山に登るとわかることがある。歳を取ったという事と季節感など。特に季節感、中でも紅葉の時期。例年なら真っ赤に染まる紅葉を楽しみに二年前から予約した旅館、去年はまだ始まっていなかった。

“ほったらかし”でおいしくできる！ こだわり素材で味噌づくり

味噌づくりの季節到来！寒い冬の時期に仕込むと、暖かい春、夏に向けてゆっくり発酵していき美味しい味噌ができていきます。自然栽培・天然菌のこだわり素材でつくる味噌は、ほったらかしていても自然に美味しく仕上がるのがうれしいポイント。今回は味噌づくりに必要なアイテムを集めました♪



塩切り麴

マルカワみそが採取した蔵付き麴菌と、自然栽培米でつくった米麴に、味噌づくりに必要な分量の塩を加えた味噌づくり専用の米麴です。塩を計量する必要がなく、手軽に味噌を仕込むことができます。塩によって麴菌の働きが抑えられるので、常温保存が可能です。

ナチュラル・ハーモニー
天然麴菌 塩切り麴 1050g ¥3,300 (税込)



自分好みの味わいに

米麴

米麴の冷凍タイプ。生麴なので麴の力はそのまま、お好きな割合で味噌が作れます。

ナチュラル・ハーモニー
米麴 500g【冷凍】 ¥1,680 (税込)

黒豆

自然栽培の黒豆。味噌づくりに慣れている方におすすめです。

ナチュラル・ハーモニー
自然栽培 黒豆 500g ¥1,600 (税込)



この2つがあれば、味噌ができます！

大豆

肥料や農薬をつかわない自然栽培の大豆です。アクが少なく、大豆そのものの味わいを楽しめます。色んな種類のお豆で味噌は作れますが、初めての方や作り慣れていない方は大豆がおすすめ。大豆500gと塩切り麴1パックで、約2.2kgの味噌をつくることができます。



ナチュラル・ハーモニー
自然栽培 大豆 500g ¥1,200 (税込)



天日湖塩

希少な完全天日結晶塩。安定したおいしさです。

木曾路物産
天外天 天日湖塩 1kg ¥636 (税込)

おすすめアイテム

味噌づくりセット

手軽に味噌づくりができるセット。初心者でも安心なガイド付きです。

ナチュラル・ハーモニー
天然麴菌の味噌づくりセット ¥4,400 (税込)



味噌づくり教室 / 開催中！

ナチュラル・ハーモニー発酵料理研究家「おふくろ男子」と井上智見による手作り味噌教室も開催しています！おしゃべりしながら楽しく味噌づくりをしませんか？オンラインでも受講可能です。

詳細は公式HPでチェック！
<https://naturalharmony.co.jp/event/category/ofukuro/>



Natural Life Journal

「調和する生きかた」というテーマで世の中を考察するナチュラルライフジャーナル

混迷する約束の地カナン 後編

イスラエル・パレスチナ問題に見え隠れする意図とは いったい誰が得をしているのか？

前編では、歴史の流れの中でイギリスがイスラエルの建国に深く関わり、利害関係のある民族同士に都合の良い条件を提示しておいて曖昧にしたまま手を引いた行為が、その後の混乱と対立を作り出す原因になったと説明しました。また、この行為に及んだ背景には、イギリスとユダヤ資本との繋がりが大きく関係していたこともありました。

今回は、その後第二次世界大戦後の事例を見ていきたいと思います。第二次世界大戦中のナチスドイツによるユダヤ人迫害が激化したこともあり、それ以降ユダヤ人の入植が本格的となり、一九四八年のイスラエル建国に繋がります。しかし強引とも言える建国は先住のパレスチナ人にとっては、複雑に土地を分割されるなど、とても不利な条件になっていたことで大きな反発を招きました。

ナチスドイツのユダヤ人への迫害が結果的にイスラエル建国を促進したことになりましたが、イスラエルはその後旧ドイツからの多額の賠償金によって経済を立て直すことになりました。イギリスによる分割統治の手法は、パレスチナに限ったことではなく多くの植民地に適用され、その後多くの対立と憎しみを生み出してきたことを前編で書きましたが、イスラエルの建国にも同じように謀略的な手法がとられたと言えます。

ただし、過去の植民地支配とイスラエルを建国した目的には明確な違いもあります。単純に資源の搾取や特定の民族をコントロールするためだけに執られた手法ではなく、明らかに政治的な意図がありました。それがシオニズム運動です。世界各地に離散していたユダヤ民族が、長い歴史を通じてパレスチナの地に帰還を目指し母国の建設を目的とした運動で、一見すると旧約聖書の一文にもあることから宗教的な運動に捉えられがちですが、

これは経緯から見ると極めて政治的イデオロギーと言ってしまうでしょう。長い歴史の中で世界各地に離散していたユダヤ人ですが、すでに各地の民族の中に溶け込んで同化していた人々をユダヤ人種と特定することは、極めて困難なことです。実は、ここで問題になっているユダヤ人とは人種のことではなく、ユダヤ教を信仰する人々を指します。しかし問題の本質は、ユダヤ教を信仰する人々の人権に関する問題をユダヤ人の民族問題にすり替えてしまったことにある、いつの間にかユダヤ人のナショナリズムに化けてしまったということです。つまり、最初はユダヤ教の信仰の自由が守られれば、他の宗教や民族との関係性はあまり問

わず、共存することが最も現実的であったものが、神に選ばれし者が国を作り統治するべきであるという強烈な選民思想に動かされることになってしまったのです。

日本人の持つユダヤ人のイメージは、かつて迫害された気の毒な民族という側面と世界の金融や政治に大きな影響力を持つ人々という側面の両面があるでしょう。しかし、現実的にはとても複雑な要素が絡み合っています。前述した通り、建国時にイギリスが深く関わっていたこともあり、その議会に影響力を持っていたのはユダヤ資本の金融業の存在です。これは現代にも繋がっています。米国でもイスラエル支持の活動家の影

響が大きく、最も政治的に影響力のあるキリスト教福音派と呼ばれる団体と協力関係があることから、米国議会ではイスラエルに批判的な発言をしただけで、票を失うことになりました。さらにネオコンと呼ばれる保守派でも軍事的なタカ派の立場である人物たちが混じっていることもあり、事態をより複雑化しています。

ある人が言っていました。「正義の反対は愛である」と…。

お知らせ



自然素材で身体に優しい冬のあったか特集

綿など自然素材ならではの保温性・保湿性で、柔らかな着心地のニットや靴下などの衣類。植物が持つ香りや温もりを感じる雑貨や、寒い日に食べたい食品を集めました。

<http://naturalharmony.store/100024>



シンプルな素材でできたひとくち焼き菓子

有機栽培された小麦やアーモンドブードルを使用し、低温でじっくり焼き上げたクッキー生地は、サクサクほろほろ食感。口の中で溶けるような、優しく優しい口どけです。

クロスロード
ブールドネージュ
ショコラ・バナナ 7粒入 ¥399 (税込)

つむぎ 2024年1月号
発行・制作 株式会社ナチュラル・ハーモニー
千葉県八街市八街は 948-5
info@naturalharmony.co.jp
公式サイト <https://naturalharmony.co.jp/>
ONLINE STORE <https://naturalharmony.store/>